

平成29年5月10日
宮城県原子力安全対策課

東日本大震災により被災したモニタリングステーションの再建について

1 経緯

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、女川原子力発電所周辺に設置していたモニタリングステーション（以下「MS」という。）4局が被災し、現在、その代替えとして、仮設住宅の周辺など5箇所に可搬型モニタリングポストを設置し、測定を行っている。

発電所周辺集落の防災集団移転事業が進んできたことから、被災したMSの再建について女川町及び石巻市と調整を進め、また、環境放射能監視検討会において学識経験者の助言も得ながら再建予定地の選定を進めてきた。

このたび、MSの再建予定地を決定し、今年度、局舎の設計や建設業務、測定機器類の整備事業等に着手する予定であることから、その概要について報告する。

2 概要

(1) ステーション名（再建予定地・配置図は裏面参照）

- 飯子浜局（女川町飯子浜） ○ 鮫浦局（石巻市鮫浦存入田）
- 谷川局（石巻市谷川浜川原） ○ 荻浜局（石巻市荻浜字石峠）

(2) 測定項目（網がけが再建するMS）

ステーション名	空間ガンマ線総線量率	空間ガンマ線積算線量	風向・風速	浮遊じん(採取)	降水量	土壌水分	気温	日射量	放射収支量
女川	●	●	●	●	●	●	●	●	●
飯子浜	●	●	●	(●)					
小屋取	●	●	●	(●)	●				
寄磯	●	●	●	(●)	●				
鮫浦	●	●	●	●	●	注3	注3	注3	注3
谷川	●	●	●	(●)					
荻浜	●	●	●	(●)	●		注3	注3	注3

注1：空間ガンマ線総線量率の測定においては、スペクトルの測定も実施
 注2：浮遊じん濃の(●)は、異常時対応として行う。
 注3：現在の測定実施計画の測定項目となっているが、再建したMSで測定をやめる項目

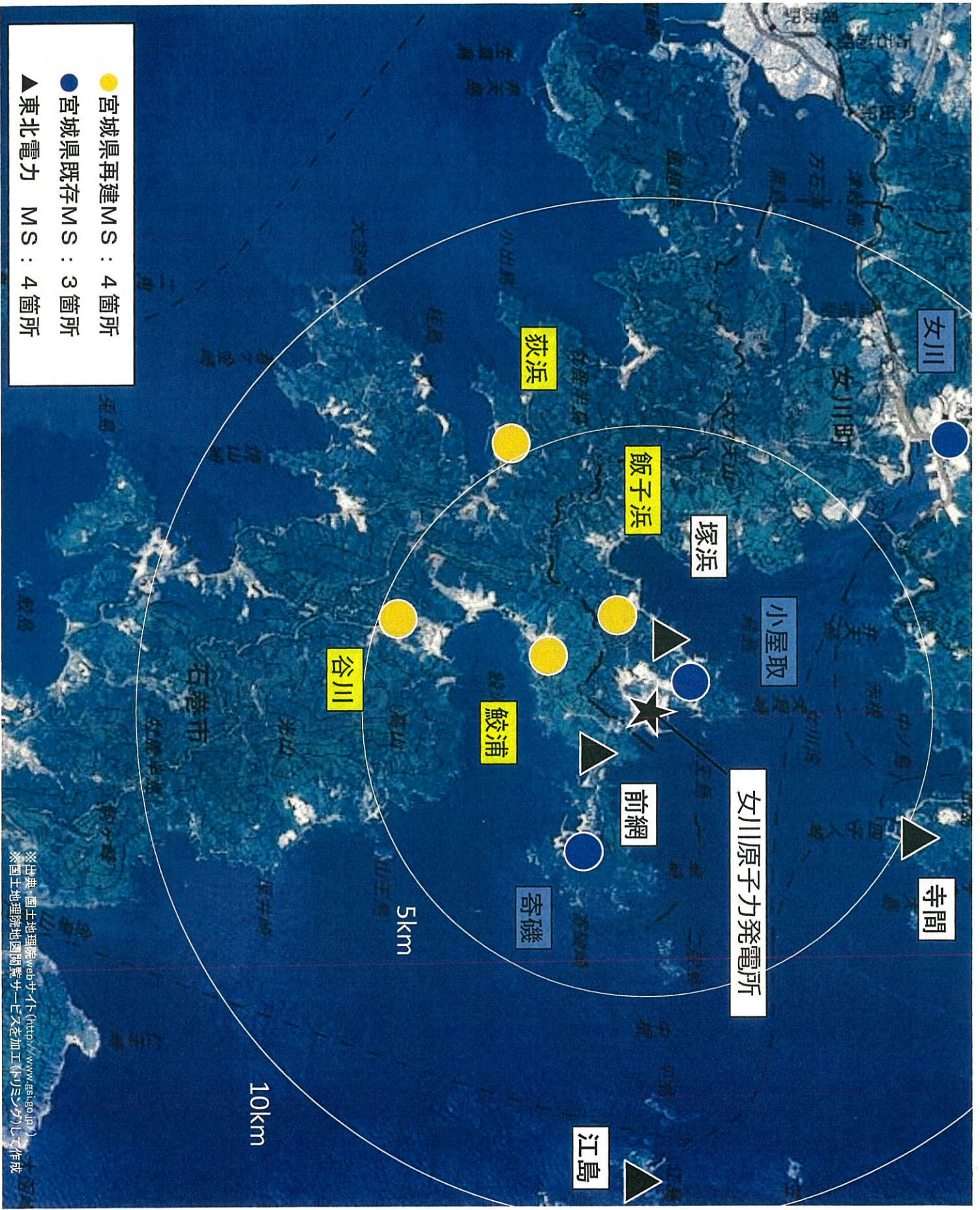
【参考】MSの設置地点選定において考慮する事項

- 施設からの距離 ○ 卓越風向 ○ 全体的なバランス ○ 人の居住状況
- （「女川原子力発電所環境放射能及び温排水測定基本計画」より）

3 今後の予定

現在、非常用発電設備の設置も含めた局舎の設計業務の準備を進めており、今年度内の完成を目指すとともに、並行してテレメータシステムの改修や放射線測定機器等の整備を行うこととしている。

事業の進捗を踏まえて「女川原子力発電所環境放射能及び温排水測定基本計画」等の改正を予定している。



- 宮城県再建MS : 4箇所
- 宮城県既存MS : 3箇所
- ▲ 東北電力 MS : 4箇所

女川原子力発電所

女川

寺間

江島

小屋取

塚浜

飯子浜

菰浜

鮫浦

谷川

5km

10km

石巻市

※出典：国土地理院ウェブサイト (<http://www.gsi.go.jp/>)
 ※国土地理院地図閲覧サービス加工（トリミング）して作成